

秋号

第323号

一粒の麦

社会福祉法人エデンの園
2021年10月16日

ひとつぶのむぎ



夏祭りの様子



様々なレクリエーションにチャレンジ!!



エデンカフェへようこそ!



今日は敬老の日です♪



コーヒーとおやつ美味しいなあ〜



敬老会の様子



上手に果物運べるかなあ〜



アイスクリーム美味しいです!!

聖書のことは

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)

～新たな時代のエデンの園～

法人事務局長 宇都宮 知 敬

昨年の6月に「障がい者支援施設エデンの園」の管理者に就任し早1年が経過しました。その間、新型コロナウイルスにより利用者さんの日常生活にも多大な影響を受けながらの施設運営となりました。

当法人でもワクチン接種や感染予防徹底のため、施設内への立ち入り禁止や制限、ご家族との面会の禁止や制限、外出や帰省外泊の制限や中止、外部利用者、ショートステイの受け入れ中止等々数年前では考えられなかった事態に直面しております。その中での制度改正や報酬の見直し、人材確保など事業経営は厳しさを増す一方です。事業継続のためには個々の支援だけでなく、経営や事業運営に変革が求められております。

これまでは、「思いやり」、「人柄」、「健康で元気」を持って利用者に接する職員を育成しておりました。ここ数年は、それにプラスして専門的知識をもち根拠のあるサービス提供ができる、根拠を示して職員に知識や技術を指導できる職員の育成に重点を置いております。まだまだ道半ばですが将来を見据えて事業所レベルでのサービスの質の向上、利用者に必要とされるサービスの提供ができる事業所である必要が出てきました。昨年度より、中堅職員、管理職職員を中心にガバナンス委員会を設け制度や組織の在り方などの検討、今年度は、事業所ごとの加算算定要件や人員配置基準の確認、支援内容の見直し、人事制度、組織の見直し等を行っております。従来通りの支援や運営スタイルの良い点は残し、各事業所共にニュータイプの運営スタイル・支援スタイルを確立していくことにしております。特に障がい者支援施設エデンの園では、入所施設として住まいに重きを置いておりましたが、高齢者の入居施設との違いが曖昧になっていましたので、サービスの違いと区切りを再認識する為に重点目標をサービスごとに設定し取り組んでいるところです。連動した支援はもちろんでありますが、サービスの違い・区切りを明確にすることで、より良いサービスの提供に繋がります。

次に職員の働き方についても考えなければならぬ時代となりました。昨今言われている『働き方改革』は私ども福祉業界にも関連することで、時間外就労の削減や有給休暇取得率向上などの課題が浮き彫りとなっております。一昔前は、残業して仕事する事が美德とされる風潮がありました。エデンの園でも利用者支援は、終業時間内目いっぱい行い記録は、サービス残業が当たり前と考えられておりました。昨今では、『ワークライフバランス』が目ざされ、ノー残業デーの設置や計画的有給休暇付与などが行われております。当法人でも一般事業主行動計画を制定し実行している最中であり、ノー残業デーを試験的に実施している事業所もあります。永く勤められる法人にならなければ離職者が増え、事業継続が難しい時代です。社会福祉の理念と経営バランスの調和が求められる時代を痛感しております。

最後に、法人の利用者の高齢化が進んでおり、身体的介護や医療的ケアを必要とするケースも増えてきました。『最後までエデンの園で…』というご家族の意向をお聞きする事も多くあり、私どももできる限り対応したいと考えております。しかし、果たしてそれが利用者さんの為なのか？と疑問があります。エデンの園で出来るサービスの中で、最低限の介護・医療的ケアで状態が悪化していく姿を見届けるより、その方々に合った適切なサービスが受けられる選択肢を選ぶことが『利用者ファースト』なのではないかと考えます。適切なサービスを受けるためには、介護保険制度を選択することもあり得るのではないかと、利用者さんが介護や医療を受けることで元気に過ごせる時間が延びるのであれば、そちらを選択することが福祉従事者だと考えます。エデンの園も年々事業展開、サービスが多様化してきたことで、沢山の利用者さん・沢山の職員が在籍しております。沢山の人の人生を預かる立場として、新時代に合わせたエデンの園を作り上げていきたいと思っております。また、NEWエデンの園を構築していく事で、新たな時代の幕開けも予感しております。

それぞれの事業所から

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園

エデリンピックの様子

エデリンピック開幕!!

徐々に肌寒くなってきたこの時期、秋分も近づいてまいりました。エデンの園では、オリンピック開催にともないエデンの園でも“エデリンピック”を開催しました。各エリアで飾り付けの作成を利用者の方と一緒に行いました。各々のスポーツの写真や絵に利用者の方と職員の顔を当てはめたり、各国々の国旗を飾ったりと工夫を施しました。ねんげ・こすもすエリアではパン食い競争を行いました。利用者の方も普段と違う催し物に楽しまれている様子が窺えました。皆さまの明るい笑顔を見て心もほっこりしました。

障がい者福祉施設エデンの園 生活支援員 河野めぐみ



ホールもすっかり
オリンピック色になりました!!

●エデンの園 ふれあい

ふれあいカフェを行いました!

ヒマワリが咲き誇る夏が少し落ち着きを取り戻しつつある8月22日にエデンの園ふれあいでは「ふれあいカフェ」を開催しました。今回、国富町にある「hoita (ホイッタ) クレープ」さんのクレープを事前に写真等で好みのクレープを選んでもらい皆さんいつもの喫茶の時間に飲む、コーヒー、ココアとともに頂きました。皆さんとても美味しく召し上がられたのご利用者方々も「おいしい」と言われ中には、クレープを初めて食べました。という声も聴かれました。コロナウィルスの終息がいまだに見えてきませんが少しでもご利用者の皆様に楽しみのある充実した時間が提供できるように計画していきます。

エデンの園ふれあい サービス管理責任者 谷口博孝



クレープ美味しいなあ～



一ツ葉ビーチに来ました。
海がきれいだなあ～

コーヒータイムを
現地で行いました♪



●エデンホーム三名

今日は、もものネクターです!

「海が見たいなあ～」との利用者の声に、ジュース代を手にサンマリーナ宮崎に出かけました。車中での様子は8人8色。車窓からの景色に一喜一憂されるひと、イヤホンに音楽を聴いているひと、いびきをかいて熟睡しているひと。色々な顔を見ることが出来ます。

ドライブ先での一番の目的はジュース。一斉に目が自動販売機に向きます。

100円玉を2枚投入、ジュースを全部見渡して「今日は、もものネクターです」とボタンを押す。「自分で決めたいです」と笑顔。自分で決めて、自分で買う。これからも大切にしたい時間です。

サブマネージャー 林 裕一

エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援B型事業所つむぎ

「コロナの影響で」と言うと、様々な事が制限され、生活のしづらさばかりを連想してしまいがちですが、少し発想を変えると自分らしさを改めて考え直す時間が与えられたとも捉えられます。

そこで、つむぎでは改めて利用者さんの特色あるスキルに着目し、新規DIY作業の開発を行っています。その第1弾として、エデンの園の特色で間ある点字に着目し、点字シールの販売を計画しています。販売までには、作業工程は？点字を打てる利用者さんは？需要があるの？等、確認事項も多いため、まだまだ課題は山積みですが年内の販売に向けて動いています。

利用者さんが長年積み重ねてきたスキルを活かせるよう、日々楽しみながら販売のできるよう取り組んでいます。機会があれば、購入を検討してみてください。

つむぎ サブリーダー 大山 貴 司



点字シールの作業



作業中の様子

●放課後等デイサービス麦わらぼうし



火おこしの様子

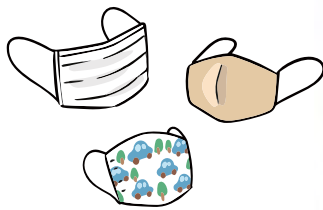


ブロックで遊んでいます♪

夏休みの活動

コロナ感染症により、毎年行えていた施設見学や、プールが閉鎖となり、例年になく制限の中での活動となりました。それでも感染対策を徹底し、工夫を凝らした活動を計画し実施してきました。特に川遊びでは今まで経験した事のない児童もいて、「楽しかった！」「また来たい！」などの声が聞かれ、良い経験になったのではないかなと感じました。事業所内では朝から、子ども達の元気な声や、笑顔もたくさん見られて、パワーを一杯貰った、そんな約1ヶ月の長いようで短い夏休みでした。来年こそはコロナの終息を願い、制限の無い中で様々な経験を積ませてあげられるような夏休みになれば良いなと強く思った所でした！

放課後等デイサービス麦わらぼうし児童指導員 星 崎 悠 成



誕生日会の様子

●エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

苦しさの中にも楽しさあり！

今も尚コロナ禍で自由な生活とは程遠い状況となっておりますが、ホームの方では、昨年度同様ホームで出来る事として青い鳥では誕生会を兼ねたお食事会・ほのかでは敬老会と楽しみをもって生活していただく様に工夫を行っています。日々の生活の中で沢山のストレスを皆さん感じている事だと思っておりますが、少しでもストレスの解消になればと思い、「楽しみを持った生活」を日々模索しているところです。これからも感染防止対策の徹底を図りながら、楽しくそして安心して過ごせる環境の提供に努めて参りたいと思います。

エデンホーム森永 世話人 保 利 翼



敬老会の様子

れんげ・こすもす夏祭り開催

9月15日にれんげ・こすもすエリアでは昼から夜にかけて夏祭りが催されていました。

夏祭りの始まりは、様々な福祉スポーツに触れ合うレクリエーションを実施し、カローリングなど普段あまり目にしないスポーツを利用者と職員一緒になってチャレンジしました。上手に出来る方もいれば、上手く出来ずに悔しがる姿も見受けられました。

レクリエーションの後は、『Eden cafe』がオープンし、利用者さんにお好みのドリンクを振る舞いました。職員が厳選したコーヒーやラテ、オレンジジュース、メロンソーダなど様々なドリンクが準備され、オープンすると長蛇の列が出来ていました。ドリンクにはちょっとしたスイーツやお菓子を付けて堪能して頂きました。

夕食は『エデンビアガーデン』がオープンし、お祭りという事で、焼きそばやポテトなど屋台を連想出来るメニュー構成となっていました。また、ドリンクも多数準備し、ご希望のあった利用者さんにはノンアルコール飲料の提供も行いました。どの利用者もお腹いっぱい召し上がられ、満足げな表情でした。

障がい者支援施設エデンの園 サブリーダー 小野 淳 司



何のドリンクにしようかなあ～



スカットボール頑張りました～

花の街敬老会

9月15日に花の街エリアでは敬老会が開かれました。

レクリエーションや職員の出し物で楽しんで頂き、茶会でスイーツを堪能して頂きました。また、お祝いの品という事で、一人ひとりにメッセージカードをプレゼントしました。利用者さんだけでなく職員も一緒に楽しんだイベントになりました。

障がい者支援施設エデンの園 サブリーダー 出水 裕 人



敬老会メッセージカード



職員で出し物を行いました♪

秋のレクリエーション

9月22日(水)に秋のレクリエーションを行いました。午前中は果物入れゲーム、午後からは皆さん大好きなドリフターズのDVDを見てゆっくりと過ごされましたが、今回のメインは何といっても昼食の「ココ壱番屋」のカレーと「サーティワン」のアイスクリームでした。皆さん有意義な時間を過ごされたようでした。

エデンの園ふれあい サービス管理責任者 谷 口 博 孝



カレーライスおいしいなあ～



果物入れゲームえを頑張りました!!

「あなたの事を教えてください。」

年齢を重ねると、視聴するテレビもバラエティー番組よりもドキュメント番組を好んで見てしまいます。最近はおっぱら、某テレビ局の街歩き番組が好きで、2週間に1回程度しかないその番組を毎回楽しみにしています。知っていらっしゃる方も多いかと思いますが、某有名芸能人が全国各地をブラブラと歩き、専門家を交えながらその町の歴史や人々の暮らしに迫る番組です。中でもその芸能人の知識の高さには驚かされます。専門家に何を質問されてもほぼ完璧に答えることができるその物知りな部分に毎回、感心しています。

一見、ただ何もない道を歩いているだけなのに、なぜか表情はキラキラ…。「この道の先はどうなっているんだろう？この街はどうやってできたんだろう？」という「興味」が表情に表れて、足取りもどこか軽やか。『きっと、この人はいろいろなことに興味があるんだろうなあ…。その興味に対して、もっと知りたいって、とことん追求するんだろうなあ…。』と、いつも勝手に想像しています。

私たちが日頃から行っている相談支援の仕事も、まずは「相手のことをよく知る」「相手に興味を持つ」ことから始まるのだと思います。年配の方相手の相談であっても、小さいころからの生い立ちなども伺い、本人の良いところや得意とする部分を上手に抽出できるようアセスメントしていきます。話を聞いていくと、これまでの失敗や課題だったり表に出てしまいがちではありますが、少しでも前向きな目標だったり、新たな一面が見えてくると、相談を受ける私たちも嬉しく感じ、その人のことをもっと知りたい！と思います。

とはいえ、まだまだ私自身、新米相談員です。一緒に働く先輩相談員にいろいろ助言をいただき、日々学ばせてもらっています。これからも相手のことに興味を持って、もっと知りたい…という思いで、接していきたいと思っています。

土曜学校メッセージ

金垣基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）
海老原直宏（宮崎北聖書キリスト教会）、山口英希牧師（宮崎清水町教会）
荒平大輔牧師（宮崎北聖書キリスト教会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金・ボランティアありがとうございます。(4月～6月)

湊 玲子様、上野聖子様、宮王丸郵便局様、ライフサポート様、渡辺静子様、横山時義様、マルキプロパン様、コスモ設計様、渡部工務店様、富士産業様、宮崎中央支援学校様、都城点訳・音訳友の会様、ダイキチ様、サンスマイル様、落合則之様、文化シャッター様、宮崎福祉医療カレッジ様



夏の暑さも少しずつ和らぎ、秋の爽やかな風が吹き始めるようになってきました。

コロナ感染症の感染者数も少しずつ落ち着いてきている様子も見られており、徐々にですが普段の生活に戻ってきている様子が見受けられます。それに油断することなく、今一度気を引き締め、感染症対策を徹底し、利用者様が安心して過ごせるように支援をさせていただきたいと思っています。

第2福祉課 星崎 悠成